

小さな変化が大きな結果を生む 「教育環境設定」で賢い子に育つ

● 勉強ができる子どもは「家」が違う！

「受験のカリスマ」「伝説の家庭教師」。これらは私が本を出したときに、広告などでつけられる肩書きです。受験を控えたお子さんをお持ちの方の心を惹きつけるということとでつけているようですが、もちろん、私が自分で名乗っているわけではありません。

20代の頃から家庭教師を生業なりわいとし、目も当てられないようなひどい状態（と、親にも教師にも思われてしまっている）子どもに勉強を教え、周囲があっと驚く上級校に合格させてきたことから、こうした呼び名をつけられるのですが、実際の私の肩書きは「教

育環境設定コンサルタント」です。

「教育環境設定」とは耳慣れない言葉だと思えます。

通常、家庭教師は依頼を受けて子どもの自宅へ行き、だいたい2時間くらい勉強を教え、そして帰っていきます。

そういった経験を積んでいくうちに、おもしろいことがわかってきました。

それは、「**子どもの学力と家庭の環境**」に密接なつながりがある、ということでした。

アタマのいい子どもは、アタマのよくなる家で暮らしています。

勉強が伸び悩む子どもは、勉強が伸び悩むような家で暮らしています。

「うちの子は全然勉強しなくて、成績もひどくて……本当にアタマが悪いです」
だから、なんとかしてください、と泣きつくように依頼してきた家に伺うと、「ああ、
これでは勉強ができないはずだ」ということが、たちどころにわかってしまう。